

ジェイアールバス東北本部

第8号

2025年11月6日

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-4-3 JR東労組仙台地方本部内
NTT:022-297-0155 JR:031-3981~3982
発責:佐藤 秀一 編集:情宣部

申2号「2025年度年末手当等に関する申し入れ」趣旨説明を行う!

ジェイアールバス東北本部は、2025年11月5日に申2号「2025年度年末手当等に関する申し入れ」について趣旨説明を行いました。主な議論経過は以下の通りです。

<組合>

- ◆2025年度の経営状況は、第2四半期決算期において対計画には及ばないものの対前年度比では増収増益であり、深刻な要員不足の中でも比較的好調である。
- ◆4期連続の黒字達成に向けて、運行体系や営業制度の見直し、繁忙期における経営資源の選択と集中など、様々な施策を実施継続している。車両係も経費削減に取り組んできたことを見て欲しい。
- ◆以前より落ち着いてきているものの人材流出が止まっておらず、要員不足の中で奮闘している組合員・社員は、身体的にも精神的にも疲労度が限界にきており、安全や健康が脅かされている。
- ◆2025春闘での過去最高のベースアップや夏季手当での高水準の支給が実施されたことにより「この会社に残ってよかった」「会社施策に協力して頑張ってきた努力が報われた」という声が聞かれ始めているものの、バス業界全体が他業種に比べ賃金が低いことから、物価上昇の影響でゆとりある生活水準とは言えない。
- ◆奮闘している組合員・社員の努力に報い、「人への投資」をすることが人材の確保と定着へと繋がり、安全・安定輸送及びサービス品質の向上が生まれる。
- ◆人材流出に歯止めをかけるだけでなく人材を呼び込むためにも、日々奮闘している組合員・社員に対し支給率3.0ヶ月を要求し、満額回答を強く求める。

<会社>

- ◆厳しい要員状況は理解している。家庭の事情でやむを得ない退職はあるが、採用は継続しており内定者が3名いる。また、体験会に20名弱来るので採用に繋がればと考えている。要員不足については今後も解消に向けて取り組んでいく。
- ◆賃金が低いということで5%以上のベアを実施し、賃金面での待遇を改善してきた。加えて、泊所やトイレなど環境面も改善し労働条件を変えてきた。
- ◆今年度上期は増収増益であり、社員の皆さんの頑張りに感謝している。
- ◆収入は前年度を超えたものの、計画に対し3000万円少ない。高速線と貸切が計画を下回った。経費削減の効果で増益となったものあり、簡単に喜んでいられない。十和田湖輸送も天候の影響で前年と同水準だった。今後、陸羽西線の列車代行が終了することで収入が下がる危機感がある。
- ◆これまで同様、社員の努力に還元するというスタンスに変わりはないが、収入など経営状況や、持続的な将来を見据えながら総合的に判断することを理解して欲しい。

長く続く要員不足の中、奮闘している

組合員・社員の苦勞が報われるために満額回答を!